

石川県防災会議（議事要旨）

1 日時

平成 30 年 5 月 28 日（月） 13 時 30 分～14 時 20 分

2 場所

石川県庁行政庁舎 11 階 1105 会議室

3 出席者

防災会議会長（谷本知事）ほか 委員 55 人

4 議題

- ① 石川県地域防災計画（一般災害対策編等）の見直しについて
- ② 平成 30 年度石川県水防計画の策定について

5 報告

- ① 今冬の大雪を踏まえた雪害対応について
- ② その他

6 議事要旨

(1) 議事概要

会長（谷本石川県知事）のあいさつに続き、会長が議長となって議事に入った。

議題①「石川県地域防災計画（一般災害対策編等）の見直しについて」、議題②「平成 30 年度石川県水防計画の策定について」を事務局から説明し、質疑応答の後、原案のとおり承認された。

その後、報告事項として、「今冬の大雪を踏まえた雪害対応について」を事務局から説明した。

(2) 質疑応答の要旨

○議題

・質疑（一般社団法人石川県災害ボランティア協会事務局長）

今回の水防計画の見直しについて、「地域の取組方針」に基づいて大規模洪水に備えた取り組みを推進することのだが、「地域の取組方針」とは具体的にどのような内容か。

・回答（事務局）

ハード対策としては、堤防の上面を舗装するなど粘り強い堤防を整備し、ソフト対策としては、現場の土木事務所長から市町の長に直接河川の状況等を電話で伝えるホットラインのほか、想定しうる最大規模の降雨に対応するよう、洪水ハザードマップを見直すことなどが主な内容となっている。

○報告

・意見（北陸地方整備局河川国道事務所長）

国土交通省本省において、冬期道路交通確保対策検討委員会を立ち上げており、中間とりまとめがなされたところである。

国道8号冬期道路交通確保対策会議においては、夏までに結論を出すということで現在検討を行っているところである。

・意見（北陸鉄道株式会社代表取締役専務）

線路に雪が積もらないように、夜間に何度か列車を往復させている。

問題となるのは、踏切部分は除雪しているが、その両側の道路に関しては除雪が追いついていないため、車両がスリップして踏切内で立ち往生してしまう。

・意見（西日本旅客鉄道株式会社金沢支社安全推進室長）

今冬については、きめ細やかな気象情報を入手できなかった点、お客様への適切な情報提供が少なかった点の2つの課題がある。

1つ目の課題に対しては、積雪状況を監視するカメラを増設していくこととしている。

2つ目の課題に対しては、ホームページの改修を進め、積雪状況の画像をアップするなど、情報提供に努めていく。